

国語科 学習指導案

学 級： 3 年 2 組 3 1 人
場 所： 3 年 2 組 教 室
指 導 者： 教 諭 山 崎 達 也

1 単元名（題材名）

二つの論説を批判的に読み、これからの時代に大切なことについて自分の考えをまとめよう。
(教材名：「人工知能との未来」羽生善治, 「人間と人工知能と創造性」松原仁, 光村図書 国語3)

2 単元の目標

- (1) 筆者の意見や根拠を検討する中で、情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。
[知識及び技能] (2)イ
- (2) 文章を批判的に読みながら、表れているものの見方や考え方について考えることができる。
[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ
- (3) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、これからの時代の人間や社会について、自分の意見をもつことができる。
[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)エ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力, 人間性等」

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 筆者の意見や根拠を検討する中で、情報の信頼性の確かめ方を理解した上で、情報を使っている。(2)イ	① 文章を批判的に読みながら、表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ② 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、これからの時代の人間や社会について、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	① 学習課題に沿って、進んで文章を読み、批判的に読むための観点を基に考えを深め、それらを生かしてまとめた自分の主張を、積極的に交流している。

[ゴールイメージ]

文章を批判的に読んだ上で、根拠を示しながら、自分の意見をまとめることができる。

- * 生徒自身が選択した方法（ロイロノート、ワークシート）でまとめる。
- * 事実、未来の想定、自分の考え、理由付けなどの項目を基にまとめる。

本単元における批判的に読むための観点

観点① 立場や主張はどう違うか？（積極的—中立—消極的）

観点② 事実や事例は適切か？（選び方や取り上げ方）

【ゴール例1】

テーマ：これからの時代に大切なこと（字数制限：300字程度）

今日、人工知能を搭載した機器は、身近なものとなり、私たちの生活になくはならないものとなりつつある。だから、これからの時代、ますます人間と人工知能が共存する時代になってくる。しかし、私はそんな中だからこそ、人間の思考、人間らしさ、人間の心というものがこれから大切になってくると考える。

この文章で、松原さんは「コンピュータは偏りのないものをたくさん生み出すのが得意である」と述べていた。これは人間にはなかなか難しいことである。しかし、何においても偏りのないものをたくさん生み出せれば良いというものでもない。私は、夏休みの宿題で、詠んだ俳句作品で、賞をもらったことがある。やはり、人間らしさや面白み、人間にしか作れない味わい深いものにも大きな価値がある。そしてそれは、人工知能にはできないことである。だからこそ、私たち人間は、人工知能にない感性を磨いていく必要があると考える。

【ゴール例2】

テーマ：これからの時代に大切なこと（字数制限：300字程度）

人工知能が、人間の知能を超える時代が来るかもしれない。羽生さんが話題にしていた将棋でも、プロ棋士に勝つような人工知能を搭載したソフトが開発されてきている。

しかし、そんな時代が予想される中であっても、人間は人工知能にすべてを任せるべきではないと考える。なぜなら、羽生さんが言っていたように、人工知能の思考はブラックボックスになっていたり、恐怖心がなかったり、人間のような美意識がなかったりするからだ。

また、私も人工知能の検索機能で自分が思っていたものと全く違う、人間にとって理解しがたい結果を出されたことがある。よって、人工知能に全ての判断を委ねるのではなく、新たな発想やものの見方を学んでいくことが大切であると考えます。

A評価：筆者のものの見方や考え方を踏まえた上で、根拠をもって自分の意見を述べている。

B評価：筆者のものの見方や考え方を捉えた上で、これからの時代の人間や社会について考えている。

C評価：筆者のものの見方や考え方を捉えている。

4 「個別最適な学び」と「協働的な学び」に着目した「授業デザイン」について

個別最適な学び	協働的な学び
《指導の個別化》 ① ヒントカードの活用	課題追究時の聴き合いや助け合い
《学習の個性化》 ② 「わたしの学習課題」と「わたしの見通し」の設定 自分で課題を決め、どう解決していくのか、学びをデザインする。	「わたしの学習課題」の基になる「問い」の吟味と「わたしの見通し」を設定する上での、課題解決のための手段や方法の聴き合い
③ 追究方法の選択 提示された複数の追究方法から、自分の課題解決につながると判断したものを選択する。	
④ 学びの自己調整 課題追究を進める中での気づきやつまずきを基に、課題追究時の手段や方法について見直し、調整する。	気づきやつまずきの共有及び、今後の課題追究の進め方についての聴き合い

5 指導と評価の計画（全5時間）

時間	学習活動・ねらい（■）	○評価規準 [評価方法] ・予想される生徒の姿
1	1 身近な人工知能について考える。 ■ 興味・関心を高めさせる。 2 本単元のゴールイメージを確認する。 ■ 単元の見通しをもたせる。 3 単元の目標を捉える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 二つの論説を批判的に読み、これからの時代に大切なことについて自分の考えをまとめよう。 </div>	○評価規準 [評価方法] ・予想される生徒の姿 ・人工知能は、生活の中になんまり入ってきている。 ・人工知能によって、職業がなくなるかもしれない。 ○ 単元の目標やゴールイメージを基に、学習への見通しをもつことができているか。 [主体的に学習に取り組む態度① ロイロノート, ワークシート]
2	5 二つの論説の筆者の主張を捉える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〈読みの共通基盤づくり〉 ・ 文章構成や論理の展開 ・ 主張の違い </div> 6 「わたしの学習課題」を設定する。 研究の取組(1)イ(ア) (1) 解決したい問いを考える。 (2) 問いを吟味する。 ■ 観点を示し、二つの論説を比較できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〈観点〉 ① 立場や主張はどう違うか？ ② 事実や事例は適切か？ </div> 7 「わたしの見通し」を設定する。 研究の取組(1)イ(イ) a ■ 複数の追究方法を示し、自分の課題解決に必要な方法を選択することができるようにする。	○ 二人の筆者の主張の違いと、大まかな文章構成を捉えられているか。 [思考・判断・表現①ワークシート, ロイロノート] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 問いの吟味とは 「わたしの学習課題」を設定する際に、単元の目標やゴールイメージに沿った学習課題になっているか確認したり、再度考え直したりすること。 ・ 二人の主張の相違点はどこにあるのだろうか？ ・ どんな事実や事例が示されているだろうか？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 批判的に読むとは 複数の文章を比較し、立場や主張の微妙な違いを捉えたり、事実や事例の適否を考えたりすること。 </div> ○ 単元の目標に対して、解決したいことや解決方法を積極的に考え、共有しているか。 [主体的に学習に取り組む態度① リフレクションシート] ・ 本文ワークシートに書き込んでみようかな。 ・ 使えるシンキングツールはないかな。
3 本 時	8 「わたしの見通し」に沿って、課題を追究する。 9 「わたしの見通し」について、自分の現在の課題追究状況を確認し、自己調整を書き込む。 ■ 自身の課題追究を軌道修正すべきか検討させる。 10 課題追究で分かったことを説明し合い、学びをまとめる。 ■ 学習状況の自己調整をさせる。	○ 二つの論説を批判的に読み、それぞれのもの見方や考え方を整理することができるか。 [思考・判断・表現① ワークシート, ロイロノート] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自己調整とは 「わたしの学習課題」を解決するために設定した「わたしの見通し」が自身の課題追究の方法として効果的だったのか再検討し、必要に応じて軌道修正すること。 </div> ○ 学習課題に沿って、進んで文章を読み、まとめたことを交流しているか。 [主体的に学習に取り組む態度① リフレクションシート]
4	11 これからの時代に必要だと考えることについて、自分の考えを300字程度でまとめる。 ■ 自らの考えを根拠を明確にしながらか形成できるようにする。	○ 課題追究により読み深められたことを基に、これからの時代の人間や社会について、根拠をもって自分の考えをまとめられているか。 [思考・判断・表現② ワークシート, ロイロノート]

5	<p>12 まとめた自分の考えについて交流し、意見交換することで学びを深める。 ■ 今後の自分の学びに繋げさせる。</p> <p>13 単元の振り返りをする。 ■ 自己の学び方を振り返らせ、効果的な学び方について理解を深め、今後の自己の学びに繋がられるようにする。</p>	<p>○ 学習課題に沿って深めてきた自分の考えを振り返り、まとめた自分の主張を、積極的に共有しているか。 [主体的に学習に取り組む態度① リフレクションシート]</p>
---	--	--

6 本時の実際（3／5）

(1) 目標

- 筆者の意見と自分の知識や経験を踏まえ、「わたしの学習課題」の解決にむけて、読み深めることができる。[思考・判断・表現] C(1)イ
- 「わたしの見通し」に沿って読み深め、課題追究の効果的な方法を考える。[主体的に学習に取り組む態度]

(2) 研究の視点

ア 「個別最適な学び」

(ア) 指導の個別化

課題追究時に、つまずきそうな場面や学びの発展・深化につながる場面を想定し、気付きを与えるヒントカードをあらかじめ準備しておくことで、生徒が活用できるようにする。

(イ) 学習の個性化

- ・ 「わたしの見通し」が自己の課題解決に効果的なものであったかについて、自己の学びの状況を確認したり、他者と共有したりしながら検討し直し、課題解決に向けて学びを調整できるよう、ロイロノートの共有機能を活用する。
- ・ 課題追究時の観点及び学び方を、複数の中から選択できるようにすることで、それぞれが設定した「わたしの学習課題」の解決ができるようにする。

イ 「協働的な学び」

課題追究時に、互いの気付きやつまずきを共有したり、助言したりする活動を通して、どのような手法が課題解決に効果的であったかを考えさせる。

(3) 展開

過程	時間	形態	学習活動	○教師の手立て、 ◎評価、【 】研究の視点
導 入	2 分	一 斉	1 リフレクションシートで単元の目標を確認した上で前時の学習を想起し、本時の学習内容を確認する。	○ リフレクションシートを確認することで、自分の学びの状況や単元の流れを確認することができるようにする。
	3 分		2 本時の学習課題を確認する。	
			批判的に読むための観点に着目して、「わたしの学習課題」を追究しよう。	

		<p>〈学習の流れ〉</p> <p>① 「わたしの学習課題」を追究する。</p> <p>② 「わたしの見通し」を検討・調整する。</p> <p>③ 学習を振り返る。</p>	<p>○ 前時の学習で考えた「わたしの見通し」を各自確認させ、課題追究のイメージをもてるようにする。</p> <p>○ 本時の学習の流れを示すことで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>
展 開	3 5 分	<p>各 自</p> <p>3 自らが選択した観点と学び方に従って、「わたしの学習課題」をそれぞれ追究する。</p> <div data-bbox="375 586 845 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>観点① 立場や主張はどう違うか？ (積極的—中立—消極的)</p> <p>観点② 事実や事例は適切か？ (選び方や取り上げ方)</p> </div> <div data-bbox="375 862 845 1037" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Aコース シンキングツール</p> <p>Bコース 比べ読みに適した表</p> <p>Cコース 本文ワークシートへの書き込み</p> <p>Dコース 自分で考えた方法</p> </div> <p>4 自らが設定した学び方「わたしの見通し」について、必要に応じて検討・調整する。</p>	<p>○ 板書には、観点別にグルーピングした名札を提示し、生徒が困ったときにすぐ学び合いができるようにする。</p> <p>○ 課題追究時につまづきそうな場面や学びの発展・深化につながる場面を想定し、気付きを与えるようなヒントカードをロイロノートの資料箱に準備しておく。 【個別最適な学び(ア)】</p> <p>○ つまづきが見られる場合には似たような課題を追究している生徒同士の聴き合いを積極的に促す。 【協働的な学び】</p> <p>◎ 二つの論説を批判的に読み、それぞれのもの見方や考え方を整理することができているか。 [思考・判断・表現①]</p> <p>○ A～Dの学び方については、必要な情報や使い方のヒントを加えたものを提示する。 【個別最適な学び(イ)】</p> <p>○ 生徒の追究状況を把握し、適宜助言を行う。</p> <p>○ 状況に応じて、効果的な学習方法を設定した生徒を紹介し、価値付けを行うことで、効果的な学習方法や見通しを考える方法などについて、生徒が深く考え、自らの学び方を調整できるようにする。</p> <p>・ まとめ方が分かった。</p> <p>・ まずは教科書に線を引いてみよう。</p> <p>◎ 学習課題に沿って、進んで文章を読み、まとめたことを積極的に交流しているか。 [主体的に学習に取り組む態度]</p>

終 末	8 分	ペ ア	5 課題追究で分かったことや自ら選択した学び方の適否について聴き合う。	○ 学び方が効果的であったかについて振り返らせることで、それぞれの学び方の特徴について気付けるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ツールを使うと、立場や主張の違いが明確になるな。 ・ 書き込みだと流れが分かりやすくなるな。 ・ 表だと比較した内容が分かりやすいな。
	2 分	一 斉	6 本時の振り返りを行い、次時の見通しをもつ。	○ リフレクションシートに本時の振り返りを記入することで、自己の学びをメタ認知できるようにする。